



(公財)柏崎地域国際化協会ニュース

第37号
March 2025

編集・発行/ (公財) 柏崎地域国際化協会
(監修/ 柏崎市産業振興部商業観光課)

新潟県柏崎市東本町1-3-24 市民プラザ2F
TEL&FAX 0257-32-1477 E-mail:kaia2006@kisnet.or.jp

「日本文化体験 ゆかたでGO!」 ～和の涼を身にまとい、柏崎のえんま市を堪能～

令和6年6月14日、市内で美容室を営む石黒さんを講師にお迎えし、[着物講座]を開催していただきました。春夏秋冬の着物や冠婚葬祭でのマナーなど、日本に生まれ育っても、なかなか知る機会がなかった着物の歴史と文化に触れました。その後、美容師の皆様より色とりどりの浴衣を着せていただき、総勢20名で[えんま市へGO!]。屋台が並ぶ柏崎の街中で、互いに撮影しあうこと数えきれず。きっと最高に映える写真を撮れたことでしょう。



講座、浴衣の着付け、鏡に映る艶姿、友達や家族からの歓声、そして柏崎の文化との融合、どの場面も笑顔がいっぱいの1日となりました。柏崎市の大イベントに合わせて行うことができたことも、当協会の喜びとなりました。

令和6年度は、好評により募集人数を超えた申込をいただきました。本年も同様の講座を開催する予定です。「今年も浴衣でGO!」をお楽しみに。

「災害への備え 真の共生社会を目指して」

(公財) 柏崎地域国際化協会 理事長 三井田 史夫



当協会にご支援いただいている柏崎市、団体及び個人賛助会員の皆様、そしてボランティアとしてご協力いただいている言語文化サポーターやスタッフの皆様へ、改めて日頃の感謝と御礼を申し上げます。

令和6年は、年初めの能登半島地震の影響で、柏崎においても、柏崎市民も柏崎で暮らしている外国人の皆様も不安定な中での年明けとなりました。協会としても、微力ながら情報の発信や外国人のための相談窓口として努めた所ですが、ボランティアとして、多様な言語でご協力をいただいた言語サポーターの皆様には、深く敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

かねてより、限られた協会職員だけでは限界もあり、緊急時の避難情報や避難所情報、防災行政無線の内容などを外国人住民の方にも確実に届けられる方法を模索していた所です。昨年7月1日より、柏崎市のホームページの災害情報を133か国語に翻訳できる機能を追加してもらいました。これにより、外国人の方が災害時に正しい情報を得て避難行動ができるようになり、また、日本人の方が外国人の方を支援する際に利用していただけるツールになりました。ただ、これらはまだ外国人の方々に浸透しておらず、その普及等に協会としても力を入れていかねばなりません。

これまで多くの大きな地震を経験する中で、歴代の職員が災害への備えの重要性を痛感し、体験を活かして、災害時多言語支援センター立ち上げ訓練や研修に力を注いでまいりました。それらの継続や蓄積が、今一つ一つ実を結び、協会の誇れる財産となっています。

アジア新興国では国内での雇用確保が追い付かず、優秀な人材が先進国を目指す動きが強まる中、人手不足の日本でも、外国人の人材の来日は最多に迫る勢いとなっています。その中であって真の共生社会を目指して、協会もその一翼を担って行ければと思っております。

「多文化防災ワークショップ 防災を通じて多文化共生について考えよう」



避難所には、外国出身の方々も避難します。
言葉も文化も違うことから、誤解や問題も出てきそうです。
そんなとき、あなただったらどうする？ 何ができるかな？

日 時：令和6年9月29日（日）

会 場：柏崎市役所 1階多目的室1、2

講 師：(公財)仙台観光国際協会 国際化事業部 部長 須藤伸子氏

前半の講演では、中越沖地震発生後、柏崎市に立ち上げた多言語支援センターにてご協力いただいたことや、東日本大震災での活動を通じて、日頃の備えとつながりの大切さをお話いただきました。

後半では、言語文化サポーターや留学生と一緒に「避難所での困りごと」を題材にしたロールプレイを行いました。「色々な立場の人の気持ちが分かり、参加者とも交流できて楽しかった」「実際に外国の方の意見を聴くことができ参考になった」などの感想が聞かれました。

日頃の備えと交流が大切、すなわち「日頃できていないことは、災害時にもできない」は、忘れてはいけないメッセージです。



がんばっています！ 柏崎人 言語文化サポーター紹介 シウヴァ デ ソウザ フェリペさん（ブラジル在住）

Q1. 自己紹介をお願いします。

ブラジルパラナ州出身です。2024年6月まで柏崎に1年9か月滞在しました。現在は、柏崎市出身の妻と2匹の猫と一緒にブラジルで暮らしています。

Q2. 柏崎に住んでみていかがでしたか？

大きい都市ではないですが、騒音が無く平和な市で私は大好きです。そして、私はえんま市が好きです。2023年は3日間連続で行きました。たくさんの屋台があんなにずらーっと並んでいることにびっくりしました。次は私の両親を連れて楽しみたいと思っています。



Q3. 柏崎に住んでいる時は気づかなかったことで、今柏崎について思うことはありますか？

今、柏崎についてネット検索をすることがあります。私が行ったことがないお店やレストランがたくさんあることに今さらですが驚いています。次に柏崎に行った際には、このような場所に行ってみたいと、今から思っています。

Q4. 柏崎（日本）にあるもので、これは良かったと、思う物（こと）があったら教えてください。

24時間営業のコンビニエンスストアには驚きました。ブラジルにもコンビニエンスストアはありますが、24時間営業ではありません。そして、ブラジルのコンビニエンスストアで販売されているもののほとんどはお菓子ですが、日本ではお弁当、おにぎり、サンドウィッチなどすぐに食べられる物を購入できることは羨ましいです。

Q5. 言語文化サポーターとして、様々な講座でブラジルの文化を紹介していただきました。

印象に残っている講座やその際の感想などを教えてください。

私の生まれ育った国の文化を紹介することはとても嬉しいことでした。中でも、ブラジルの手遊び歌を子どもたちと一緒にいった光景は今でも思い出します。私とは異なる国籍の子どもたちにブラジルの文化に触れてもらい、あのように楽しく遊んでもらえたことは大きな喜びでした。柏崎の子どもたちと手遊び歌で遊んだ時は、ブラジルの子ども時代を思い出しましたが、ブラジルにいる今は、手遊び歌を思うと柏崎の子どもたちとの光景を思い出しています。そして、私は日本語がうまく話せませんでした。子どもたちから一生懸命に理解しようとしてもらったことにとっても感動しました。このような素敵な機会をもらえて感謝しています。



事業報告 (主な主催事業)

7月 多文化理解講座「中華で交流第2弾!大好き!!手作り水餃子」

中華料理を作りながら交流を楽しみました。オリジナルの具で作る水餃子とワンタンスープを、本場中国出身の講師から教わる和気あいあいの時間となりました。各テーブルに中国出身の方が1名ずつ加わり、タイトルどおり「中華で交流」の夕べを満喫しました。



7月 多言語支援センター立ち上げ訓練 (言語文化サポーター会議)

比角地区防災フェスティバルに参加し、避難所となるコミセン内にて多言語支援センターの立ち上げ訓練を実施しました。会場では施設内標示だけでなく、「電話は小さな声で話す」や「食べられない物がある人は教えてください」などの細かいお知らせの翻訳も行いました。言語文化サポーターは、パッククッキングご飯の試食や、段ボールベッドの組み立て訓練にも参加しました。



8月 多文化理解講座「キッズサマースクール アメリカ・ブラジル編」

23名の小学生が参加し、ドキドキワイワイ賑やかな講座となりました。2班で競うウォーミングアップゲームでは、ベトナム語と英語の音あてクイズ、ベトナム語でじゃんけんをしながらカードをめくり、英語での応援を受けてフラフープを渡していくリレーで、チームが一丸となりました。次いで、ベトナムの文化紹介やゲームを楽しみ、冷たいパスタを作り全員で会食を楽しみました。



10月 国際理解セミナーアジアから世界を知る!「多様性と調和の国 インドネシア」

(公財)新潟県国際交流協会からの委託事業として開催しました。講師のアグネスマリアリナイスティアニさんより、多民族国家インドネシアをまとめる重要な「パンチャシラ」や、宗教と関連が強い「祝日」等の講話をしていただきました。さらに民族衣装を着た10名の実習生の皆さんによる4地方の民族舞踊で会場は一層華やき、「心ひとつに」の合唱に胸を打った会場に拍手が響きわたりました。



通年 多文化共生学校出前プロジェクト

はまなす特別支援学校では、パティックというインドネシアの民族衣装の試着で交流を深め、手作りのマラカスを持ってブラジルサンバを踊り、両国出身の講師と柏崎にいなながら海外の空気を感じる時間を楽しみました。

柏崎翔洋中等教育学校では、「柏崎の魅力発見・世界へ発信」プログラムを計4回にわたって行いました。柏崎が持つ魅力を見直し、英語で発信する機会に備えました。

田尻小学校では、3か国出身の講師がそれぞれの国の文化をクイズ形式で紹介し、伝統的な遊びで多文化を体験しました。



1月 国際理解講座「韓国・韓国・韓国 #1」

3月まで3回連続講座を、各回異なる韓国出身の講師をお迎えして行う講座です。第1回目では、現在の韓国の状況や食事、流行などを留学生の目線で講話をしていただきました。後半では、韓国で人気のあるお菓子とお茶を囲んで、談話形式で韓国を知る楽しい時間を紡ぎました。



2月 多文化理解講座「春待ちフェスタ」

本年度も大型体験型講座を開催しました。居合道、和太鼓、箏、わら細工や書道で日本文化を堪能し、羽根を足で蹴る中国の遊びに夢中になり、アオザイを試着してベトナムを感じる時間にもなりました。餅つきの後に、参加者全員で鬼退治をし、福を呼び込んだ節分のこの日は、もうすぐ訪れる春を予感できる1日となりました。



団体賛助会員（2025年1月末現在）

—— 協会への日頃のご支援とご協力に感謝いたします ——

We would like to thank the following sponsors for their continued support.

(株)アドバネクス	柏崎ライオンズクラブ	(株)高忠商店	(有)ファーミング・スタッフ
(株)新野屋	北日本エンジニアリング(株)	田中工業(株)	藤村クレスト(株)
(有)イシグロ	(株)キムラ・テクニクス	中華美食館	(株)ブルボン
えちご中越農業協同組合	キムラ塗装工業(株)	(株)テック長沢	(株)ホソヤマ
おぎた小児科医院	栗林電気管理事務所	東北工業(株)	(株)最上屋
(一社)柏崎観光協会	(株)ケンブリッジ	中村石油(株)	柏崎市
(一社)柏崎市刈羽郡医師会	(株)小林文英堂	新潟工科大学	刈羽村
柏崎信用金庫	サンワーズ(株)	新潟産業大学	
(一社)柏崎青年会議所	シモダ産業(株)	二幸産業(株)	
柏崎日本海ライオンズクラブ	(株)創風システム	(有)熱学工房	(敬称略・順不同)
柏崎米山ライオンズクラブ	大高建設(株)	(株)柏新商会	

2025年度（公財）柏崎地域国際化協会会員募集中

多文化共生の地域・心あたたかな人づくりをめざし、地域の国際関連事業をより一層充実させていきます。多くのご参加をお待ちしております。参加すると利用できる会員特典もあります。皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

◆ご入会（継続）方法

新規にご入会

入会申込書に必要事項をご記入の上、事務局へお申込みください。会費を事務局へ直接お持ちいただくか、口座振込もご利用いただけます。（入会申込書は事務局にあります。または、ご連絡いただければ申込書等資料を郵送いたします。）

前年度よりご継続

前年度団体賛助会員の方にはご案内を郵送いたします。会費の納入またはお振込をもちまして、継続入会とさせていただきます。

◆会員になるとこのような特典があります！

- 当協会主催講座参加費の優待割引
- 卓上国旗の貸出
- 通訳・翻訳サービスの利用（規定あり）など

◆会費について

1. 個人賛助会員…年額 1口 1,000円（何口でもご加入いただけます）
2. 団体賛助会員…年額 1口 10,000円（何口でもご加入いただけます）

◇期間は、入会日より、次の3月31日までです。

◇振込口座 ●柏崎信用金庫 本店 普通 0383802 口座名/（公財）柏崎地域国際化協会
 ●ゆうちょ銀行振替 00530-2-39284 口座名/（公財）柏崎地域国際化協会
 [他金融機関から振込の場合 ゆうちょ銀行 0五九支店 当座 0039284]

はがきや切手など「ステナイ生活」及び「外国コイン」のご寄付のお願い

皆さまからご寄付いただきました葉書・切手・カードを、昨年特定非常利活動法人シャプラニールへ送付し、総額24,532円となりました。また、外国コインも日本ユニセフ協会へ送りました。ご協力をありがとうございました。引き続き当協会事務局の収集箱にてご寄付を募っております。



協会マップ

お気軽にお越しください



お問い合わせ

（公財）柏崎地域国際化協会

TEL & FAX 0257-32-1477
 Eメール kaia2006@kisnet.or.jp

受付時間 平日9:00～17:00（年末年始・お盆休みを除く）



website

facebook

instagram

（公財）柏崎地域国際化協会ニュース 第37号 2025年3月発行
 編集・発行/（公財）柏崎地域国際化協会
 監修/柏崎市産業振興部商業観光課 印刷/アザミデザイン